

まち歩き集合・解散MAP



要申し込み

墨田区観光協会の公式サイトにて  
9月中旬からネット予約開始!!

締め切り日  
10/5日迄



まちの中に滞在し、まちの空気感を感じたい方へ まち歩きエリア内でのご宿泊をご案内しております。詳しくはホームページよりご確認ください。

まちの中の民泊リスト

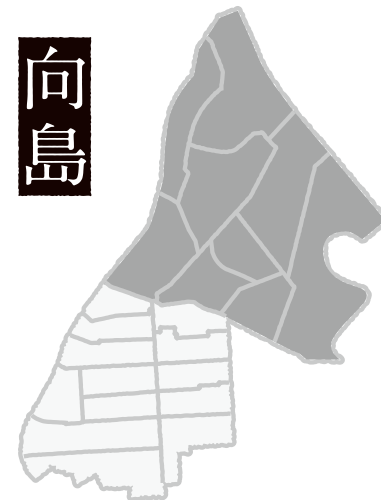
- |   |                                       |   |
|---|---------------------------------------|---|
| inn 1<br>KAB(kyojima Art Library&Residency)<br>墨田区京島2丁目24-1         | inn 4<br>墨田長屋<br>墨田区八広2丁目47-14        | バスタオル通常200円のところ無料。<br>なお、宿泊可能日は10/8,9,15,22,29のみ。(通常土曜日のみ)<br>宿泊予約は、こちらからのメール返信をもって完了となります。 |
| inn 2<br>Skytree House In Tokyo<br>墨田区墨田2丁目16-1                     | inn 5<br>AirStay向島<br>墨田区向島5丁目45-14   |   |
| inn 3<br>WISE OWL HOSTELS RIVER TOKYO<br>墨田区向島1丁目23-3 東京ミズマチイーストゾーン | inn 6<br>Pine's house<br>墨田区京島1丁目12-7 | 向島学会まち歩きガイドツアー<br>申し込み済み画面を提示すると10%の割引します。  |
- ※ご予約特典はHPからの申込限定とさせていただきます。(Airbnb予約を除く)
- ※ご予約状況によりご宿泊できない場合もあります。ご了承ください。
- ※チェックインは、15時~21時の間のみとなっております。

全国まちづくり会議2022 in 東京・すみだ

エクスカージョン企画

向島学会 まち歩きプロジェクト

向島



# 『向島の いまを歩く』

vol. 1

全6コース / 定員最大15名\* / 荒天中止

\*詳細は向島学会と墨田区観光協会の公式サイト等で案内

MUKOJIMA  
SUMIDA  
TOKYO

参加者特典  
まち歩き参加者特典として向島EXPO2022のチケットが500円引で購入できます。  
京島駅にて、申込済みのスマホ画面を提示してください。

2022.10.8 (SAT) 荒天中止 集合時間 9:30<sup>\*</sup>~11:30

※集合時間厳守をお願いいたします

参加費:  
2,000円/人  
(イヤホン、保険代を含む)

墨田区の白鬚東防災拠点、京島、一寺言間といえば、防災まちづくりのメッカとして古くから有名ですが、近年はアートプロジェクトや持続可能なまちづくりでも注目を集めています。一度じっくりと歩いてみませんか?これらのまちづくりの有志が集う向島学会の選りすぐりのガイドがご案内します。地元観光協会とコラボして向島学会のアーカイブを還元するチャレンジングな新規事業としても注目株です。

申込先:

墨田区観光協会ホームページ  
<https://visit-sumida.jp/event/npo-mukoujima/>



主催:

NPO法人 向島学会

協力:

一般財団法人 墨田区観光協会



## 1 白鬚東防災拠点再開発の歴史をたどる [定員15名]

高さ40mの巨大防火壁が1.4km続く白鬚東防災拠点。当初は、鐘淵紡績(旧カネボウ)の工場跡地の周りに再開発する計画でした。江戸時代の茅葺屋根の山門が残る多聞寺はその計画から外れましたが、梅若伝説で有名な木母寺は防火のためにガラスの鞘堂に入れられました。頼朝や家康も参拝したという木母寺は隅田川の入江に面し、そこから東へ古代東海道が延びていました。災害と防災に向き合った古刹をめぐるながら、この日本最大級の再開発事業の歴史をたどり、クラウドファンディングで宅地を農地に戻した手づくりの「たもんじ交流農園」にも立ち寄りませう。



「コース内容」

- 集合** 09:30-東武鐘ヶ淵駅前広場
- ・無人野菜販売所の古民家
  - ・多聞寺+たもんじ交流農園
  - ・白鬚東防災団地
- 解散:白鬚橋東/都営バス停留所

### 坂井 遼

マス都市建築研究所  
統括主任研究員



1983年東京生まれ。2010年早稲田大学大学院修士課程修了(佐藤滋研究室)。入社以来、主に木密地域における防災まちづくりに関わり、住民主体で小さな取り組みを組み合わせて地域の課題解決を目指す修復型まちづくりに取り組む。

サブガイド: 池 開成(明治大学建築学科)  
座間ゆず子(明治大学建築学科)  
コース監修: 山本俊哉(明治大学教授)

## 2 京島モクミツ改善の今 [定員15名]

40年前から続けられている木造密集市街地整備の成果と課題を辿ります。墨田区京島地区は木造密集市街地整備の原点といえる地区です。住環境整備事業、密集市街地整備事業、再開発事業など大小様々な事業が実施され、「危ない」と評価された地区も大きく変化してきました。一方で、そこに住む人々の変わらぬ暮らしや、新たな住民が移り住みたくする魅力の詰まった場所も点在しています。このコースでは、近代・現代都市計画の履歴を確認しつつ、新陳代謝の進むモクミツの今をご案内します。



「コース内容」

- 集合** 09:30-京成曳舟駅東改札口
- ・曳舟駅前地区プロジェクト(再開発事業)
  - ・押上通り(道路拡幅事業)
  - ・京島防災街区整備事業
  - ・京島2・3丁目地区(住環境整備・密集市街地整備事業)
- 解散:原公園(京島3丁目)

### 藤賀 雅人

工学院大学 准教授



1985年広島市生まれ。2013年明治大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。明治大学建築学科助手、工学院大学建築学部助教を経て、2019年4月より現職。専門は都市計画(建築)。中でも建築・都市計画制度、災害復興、歴史まちづくりを専門としている。「日本近代建築法制の100年」(共著)「都市計画の構造転換」(共著)ほか、受賞に日本不動産学会著作賞、日本建築学会奨励賞ほか。

### 高山 徹也

明治大学大学院



1997年神奈川県川崎市生まれ。理工学研究科都市計画研究室修士2年。昨年度から地域調査を行い、修士研究として「京島地区における新築戸建住宅の実態と課題(仮)」執筆予定。

サブガイド: 砂原芽衣(明治大学建築学科)

## 3 路地尊とまちの雨のゆくえ [定員15名]

まちに降った雨がどこにいくでしょうか?かつて洪水の被害が多かった墨田区北部の向島・京島地域では、地域の防災と結びついたユニークな雨水管理の実践を見ることができます。建築家・隈研吾さんが選ぶ「東京新八景」のひとつにもなった「路地尊(ろじそん)」はその一例。建物に降った雨を地下のタンクに集めて、手押しポンプで汲み出し、いつもの水やりや非常時の消火・生活用水として共有しています。雨どいやマンホールにも注目して、いっしょに下町を散策しましょう。雨の日のまちの見方が、きっと変わります!



「コース内容」

- 集合** 09:30-東武曳舟駅改札口
- ・すみだ生涯学習センター
  - ・一言集会所・路地尊6号基
  - ・路地尊2号基
  - ・京島二丁目コミュニティ住宅
- 解散: たちから会館(京島第一集会所)

### 笹川 みちる

NPO法人雨水市民の会  
理事



神奈川県出身。墨田区を拠点に活動するNPO法人雨水市民の会で理事を務め、「雨のゆくえを考え、デザインするまちづくり」をテーマに楽しみながら雨と共生するライフスタイルを広める活動をしています。NPO法人雨水まちづくりサポート理事、内閣官房水循環政策本部事務局「水循環施策に関する有識者会議」委員、国土交通省グリーンインフラ官民連携プラットフォーム企画広報部会幹事を兼務。

サブガイド: 高原純子(一言会)  
長谷川春菜(東京工科大学大学院)  
コース監修: 佐原滋元(一言会事務局)

## 4 町工場の建築観察 [定員5名]

墨田区は、明治維新以降職人のための生活支援や殖産工業化から産業化が進み、印刷、金属、繊維、皮革等の多様な業種の町工場が集積する産業都市となりました。街の中に町工場が混在する風景が広がります。向島は、関東大震災や戦災の影響を免れたため、古く建築的に魅力のある町工場があります。安森研究室では、墨田キャンパスを拠点に町工場建築の研究や調査を行っています。それをもとに、ものづくりの生業や暮らしが反映された町工場建築の特徴を観察し、向島の産業と都市の繋がりを探ります。途中、町工場に立ち寄り、内部を見学します。



「コース内容」

- 集合** 09:30-東京スカイツリータウン ソラマチ広場  
サーティーワンアイスクリーム前
- ・生コン工場発祥の地
  - ・文花一丁目団地
  - ・東日本金属株式会社ほか
- 解散:千葉大学墨田サテライトキャンパス

### 村山 香菜子

千葉大学大学院



昨年度墨田区向島地区の金属町工場をリサーチするスタジオを受講。引き続きリサーチを行い、修士論文として「金属町工場の構えにおける住居共存の変遷について—墨田区旧向島地区を対象として—(仮)」を執筆予定。

サブガイド・コース監修:  
安森亮雄(千葉大学教授)

## 5 京島古民家再生とアートをめぐる [定員15名]

このコースで歩く京島2・3丁目付近は戦災を免れた築90年以上の民家が多く残る木造建築密集地です。この長屋や古民家を改装しているクリエイターたちがアートな拠点づくりをしています。その多くが「すみだ向島 EXPO2022」の会場として公開されます。今回は、海外招聘アーティストや地元作家の展示を見と共、近年の長屋再生プロジェクトで生まれ変わった京島のアートワールドを堪能します。



「コース内容」

- 集合** 09:30-京成曳舟駅西口  
(イトヨーカドー側)「階段下」
- ・KAB Library and Residency
  - ・きらきら橋商店街(ハト屋)
  - ・サテライトキッチン&ウィヴァネストベンギン
  - ・京島共同木工所
  - ・ウラダナトナリ
  - ・踏切長屋+オフコーヒー
- 解散: 千葉大学墨田サテライトキャンパス

### 和田 哲郎

すみだ向島EXPO  
アンバサダー



隅田川周辺の下町大好き元広告マンです。世田谷住まいですが、向島へ戻る画策中。古希なのに青春18きっぷを実践。浅草歌舞伎まち歩き公認ガイド。

サブガイド: 平野都子(全国通訳案内士)  
コース監修: 嘉藤笑子(向島学会副理事長)

## 6 向島のトマソンとドンツキ探し [定員15名]

本ツアーは、「超芸術トマソン」~さまざまな事情により本来の用途を失ったもの、そこにあり続けることによって、超芸術と呼ぶべき独特の風景を醸し出している不動産物件~「ドンツキ」~いわば袋小路・行き止まりの道。しかしそれとわかっていても、何故か足を踏み入れてみたくなりませんか?~の両者をめぐるまち歩きです。これらの多層的なまち歩きに触れることで、これまで気に留めなかった風景が一風変わって見えてくるような、自分で楽しみ方をつくり出すまちの歩き方を体験していただくのが本ツアーのねらいです。



「コース内容」

- 集合** 09:30-東武曳舟駅西口
- ・埋没石臼~双子階段~
  - ・新しく出来たドンツキ ~ 新しくできた原爆タイプ
  - ・墨堤通り下ドンツキ(町の遺産ドンツキ)
  - ・露伴公園
- 解散: 北條工務店となり

### 北條 元康

向島学会理事長



東京都墨田区向島で工務店を経営。幼少の頃より職人に囲まれて育ち、モノ作りが好きになり、自身も大工として施工を熟す。2001年頃より、向島で活動するアーティストと協働し、各地でもサポートを続ける。2011年次世代の工務店のあり方を模索する為に、ポスト工務店BUGHAUSを立ち上げる。2019年より、自社隣に「北條工務店となり」を開業した。2Fには、「向島まちづくり資料館<準備室>」を開業した。

### 齋藤 佳

ドンツキ協会会長



地元墨田区北部・向島エリアで、まちに数多く存在する行き止まりの道、すなわちドンツキをまちの個性として捉え、その観察・研究また表現活動により、ドンツキと徹底的に向かい合い、関わり合いながら、ドンツキの地位向上に努めることを主旨としています。ドンツキを巡るツアー「ドンツキクエスト」のほか、ドンツキを活用したイベントを不定期に開催。「タモリ倶楽部」「アド街ック天国」ほかテレビ・新聞・ラジオ等にも多数出演。